

# 森の館通信



## 春がきた!



コバノミツバツツジは、ふれあいの森で最も早く葉を開く植物の一つです。冬芽でじっと寒さに耐えていた植物が葉を開く姿を探して、森で春の訪れを感じてみませんか?  
(さくちゃん)



3月のようす

### スタッフのつぶやき

ふれあいの森で活動するボランティア団体「いっちゃんクラブ」の活動中に、切り倒した木の幹の中から、何かの幼虫が見つかったと森の館に届けられました。幼虫は太さが約2cm、頭からお尻までが6~7cmもありました。

『日本産幼虫図鑑』で確認するとシロスジカミキリの幼虫でした! 写真撮影のために、そっと机に乗せてみて、気が付きました。足や目がありません。幼虫の間は、幹の中で体の周りがある生木を食べて育つので、食べ物を探して歩きまわる必要がなくなり、足や目は退化したといわれています。でももし・・・幼虫が自分の周りの木を食べ尽くして、木の中を移動したいときはどうするのでしょうか? 大きなあごで木にかみつき、体を曲げ伸ばしして移動するのでしょうか?

↓見つかった  
シロスジカミキリの幼虫



木の中の幼虫の生活を想像して楽しくなりました。この幼虫はこれから蛹になっていくそうです。館で飼育していますので、見たい人はぜひ声をかけてください。(さくちゃん)

### さくちゃんの最近見つけた

いきもの話が聞ける



「堺自然ふれあいの森・森の館」のさくちゃんかスタッフに見せてね!

### 今月のオススメイベント

4月~翌年3月までの毎月1回 原則第二日曜日  
10:00~14:30

#### 「いっちゃん子ども自然塾」

里山の田畑で、一年を通して四季折々の農作業体験を行います。体験を通して自然に触れ、生きものを学習し、自然を大切にする意識を育みます。

対象: 新小学2~6年生 定員: 15名  
(申し込み多数は抽選)  
参加費: 3000円 受付: 3/1(木)~15(木) 17時まで

3月31日(土) 10:00~11:00

#### 「おはなしかんさつ会」

森の生きものが登場する紙芝居を読んだあと、野外で生きものの観察をします。今月は「みつばち」のおはなしです。※雨天時は紙芝居のみです。

対象: 未就学児と保護者  
参加費: 無料  
定員: なし  
\*森の館で直接



もり ようす ほっしんちゅう  
森の様子を発信中! Facebookもチェックしてね!

堺自然ふれあいの森 Facebook 検索

# いきものみつけ!

右の写真、  
どこかに生きものが隠れているよ!

さあ、探してみよう!

隠れているのは...



ウラギンシジミ

羽を開くと約4cmでモンキチョウと同じくらい。成虫は年に2回発生し、秋に羽化したものがそのまま冬を越す(成虫越冬)。

常緑樹の葉の裏側などで冬越しし、ヤマモモ広場の落ち葉の上に乗まっているのが見つかった事もある。また、冬でも暖かい日には活動する。幼虫はフジヤクスなどマメ科の葉を食べる。



羽を開くと...

開いたところがチョウの「表」、閉じた時に見えるのが「裏」



## 成虫越冬のチョウいろいろ



ムラサキシジミ



テングチョウ



ヒオドシチョウ



ルリタテハ

成虫越冬をするチョウは、閉じた時に見える羽の裏面が地味なものが多く、木の幹や枯葉などに止まっているととても見つけづらいね。ほかにも、アゲハやモンシロチョウは蛹で越冬、モンキチョウやヤマトシジミは幼虫越冬と、冬越しの方法は種類によってちがうんだね。

暖かくなると、真っ先に活動を始めるのが成虫越冬のチョウ。里みちやコナラの丘で、羽を開いて日向ぼっこする姿を探してみてね♪

(さんご)



ヒメマダラ

## 堺自然ふれあいの森

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740  
TEL: 072-290-0800

開園時間: 9:00~17:30 (3~10月)  
9:00~16:00 (11~2月)

休園日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

### <バス>

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」  
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m  
※日・祝は一部「堺公園墓地行き」もあり(「自然ふれあいの森前」下車すぐ)

### <車> 駐車場無料

阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園墓地」を目標にお越しください



### \*ウェブサイトへGO!

イベント情報や最新の自然情報が閲覧できます。

堺自然ふれあいの森 検索

